

# ともさかにじゅうふせいごう 友坂二重不整合

県指定天然記念物

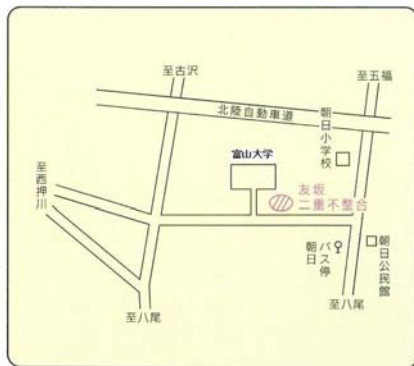
婦中町友坂

友坂地内の県道富山外郭環状線に沿った崖（富山大学杉谷キャンパス裏）に、時代を異にする3つの地層が、2つの不整合で重なっているのが見られます。

下の地層は、磨き砂にもなる軽石質凝灰岩層です。今から約1000万年前、この辺りは海岸で、海底火山の爆発により、白い浮石質の層ができました。やがて、この層は、傾きながら隆起して、陸地となりその後侵食され、再び海底となりました。その上に、黒っぽく粗い砂の層が堆積し、第1の不整合をつくっています。

その後、約100万年前ぐらいまでに、2つの層は、横からの力で曲がりながら陸となりました。その上を神通川が流れ、大きな礫を含む層が堆積しました。これが、第2の不整合面です。その後、さらに隆起し、現在のようになりました。

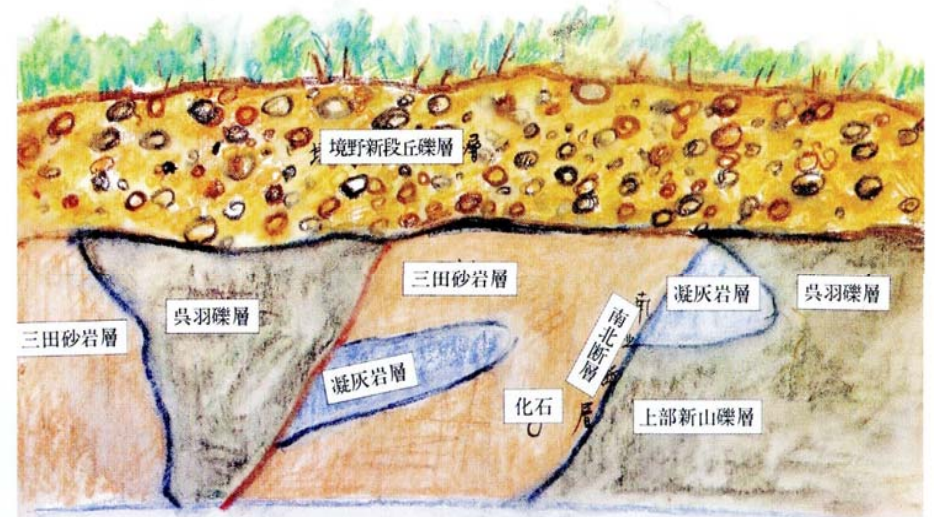
このように、二度にわたる不整合がこの崖で見られ、新生代後半における呉羽丘陵の生いたちを知る上で、重要な天然記念物となっています。



朝日下車（地鉄バス）徒歩15分



友坂二重不整合



友坂二重不整合断面図